



社報

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

龜ヶ池



第4号 [平成20年1月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail: info@kamegaike.jp



亀ヶ池八幡宮所蔵「陵王の面」

継承す 不易流行

美しい日本は何処へ行ってしまったのか。世界一の勤勉な国民、世界一の安全安心の国家ではなかったのか。

戦後六十余年で食糧自給率は四割を切ってしまった。瑞穂の国はどこへ行ってしまったのか。未曾有の経済発展のもと物は豊富になり便利になったが、個人主義の蔓延と家族・地域の解体、損か得かで価値判断する風潮は、美しい日本の伝統文化を着実に蝕んでいる。正に日本の危機である。

この時こそ我々は日本民族としての精神支柱である神社神道の興隆に努め、敬神崇祖の念を深め、国旗国歌を尊崇し日本再生、美しい国「日本」づくりを目指し世界に誇れる国民になりたいものである。

※不易流行：永遠に変わらない性質と新しさを求めて流動化する性質は全く違うもののように見えるが、ともに基づくところはひとつだという松尾芭蕉の俳諧理念のひとつである。



年頭のご挨拶

宮司 根岸信行



新年明けましておめでとうございます。平成二十年戊子の年頭にあたり、謹んで

新春のお慶びを申し上げますとともに、皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年の十一月には七十五歳以上の高齢者が千二百五十万人を越え全人口の二割を占めることになり、愈々少子高齢化

が現実味を帯びてきました。日本では古くより年配者に対する尊敬と感謝の気持ちで以て「敬老の日」が制定されました。これは世界に誇れる制度であります。将来にわたり一層高齢化が進みますが、不安のない生活が送れる社会を迎えたいものです。

また、世界的に温暖化が進んでいます。日本でも昨年四月には夏を思わせる気温を記録し、気象庁は六月より三十五度以上の気温の日を「猛暑日」と呼称する

平成19年度例大祭齋行

真夏日を越える日が猛暑日と言われるようになった昨年は、大変な暑さで残暑も長く続きましたが、やや涼しげな風が肌に感じられる9月15日午前10時に神奈川県神社庁



理事・小澤修二氏(箱根神社宮司)を献幣使にお迎えて神社本庁からの幣帛を大神様の大前に献備し、清水亨総代長はじめ当宮役員・来賓・氏子崇敬者等、大勢の御参列を賜り厳粛なうちに、亀ヶ池八幡大神の御神恩に感謝の赤誠を捧げ、更なる御神徳の発揚が祈念されて、1年に1度の例大祭が齋行されました。



境内では、市内少年剣道奉納大会やお囃子また神楽殿に於いてはプロ歌手の出演・地元有志による演芸大会などの様々な神賑行事が行われました。

や八月十六日には埼玉県熊谷と岐阜県多治見で四〇度九分と観測史上初の国内最高を記録しました。今後五十年で平均五〜六度上昇すると言われ、地球の将来が危惧されています。

日本の宗教「神道」は自然崇拜の中で発展してきた宗教であり、山や川また木等に神が宿っていると拝んできました。今後、更に氏子崇敬者皆様のご理解ご協力を頂き、鎮守の森の果す役割は一層大きく期待され、森や林を大切に、地球温暖化防止に役立つ世界に誇れる宗教「神道」へ進化させる責務があると存じます。

新潟県中越沖地震義損金



宮司	根岸 信行	山田 昌士
禰宜	根岸 浩行	金指 幹夫
権禰宜	根岸 千恵子	松本 茂
	福田 満理	無藤 一男
	川端 克征	木上 亨
	田中 健一郎	熊坂 弘次
責任役員	清水 亮	村山 昭人
	小林 亨	佐藤 林作
総代	練間 清崇	北島 捷一
	鈴木 正彦	永和 道隆
世話人	竹内 一郎	関田 崇清
	鈴木 正彦	関田 崇清
(四ツ谷)	米山 侃	金沢 博文
	小川 和宏	清水 恵二
	吉川 善一	(虹吹)
(久保)	中村 善一	金子 兼吉
	門倉 國政	金子 俊次
	鈴木 敬信	(丸崎)
	中村 之三	大野 寛次
(日金沢)	上島 茂三郎	鈴木 武雄
	吉川 佳一	根岸 良郎
	加藤 光明	佐藤 正義
(本町)	五味 文市	荒木 正茂
		(石往)
		田中正志

謹賀新年

氏子会への入会ご希望の方は、右記総代世話人へご連絡ください。

